

様式 2

先進地（現地）調査報告書

平成29年11月1日

玉名市議会

議長 永野 忠弘 様

氏名 内田 靖信



下記のとおり、先進地（現地）調査を行いましたので報告します。

調査議員	高村 四郎議員 永野 忠弘議員 内田 靖信議員 松本 憲二議員
日 時	平成29年 7月13日（木）～平成29年 7月14日（金） 7時22分～ 18時37分
調査先	岡山県美咲町 山口県周南市
調査事項	学校統廃合に伴う廃校利活用事業の取り組みについて
調査先面会者	美咲町副町長 岡部初江氏 美咲町議会副議長 松島啓氏 周南市議會議長 小林雄二氏 周南市生涯学習課長 [REDACTED]
概要及び所見	美咲町中央公民館・中央図書館（旧厚生小学校跡） 合併特例債事業により、廃校を町立公民館として整備。 廃校した小学校を利用して農村型リゾート（南和気荘）へ改築 休校した小学校を大田原自然の家として整備、活用。

自友クラブ先進地視察調査報告書

岡山県美咲町

美咲町では、2校の廃校小学校の活用事例を視察調査しました。

1例目は公民館と図書館の併合施設であり、1階部分を図書館、2階部分を公民館として整備してありました。駐車場（旧運動場）も広く使い勝手の良い施設だと町民の方からも話を伺いました。

旧小学校は2棟立っていたので、残りの1棟については介護福祉施設として利用されていました。

2例目は（農村型リゾート 南和気荘）という宿泊や地域の伝統工芸が体験できる施設へと整備されグランドゴルフ・バーベキュー・プール・ウォークラリー等、アウトドアが満喫できる施設だと感じました。

周南市

周南市大田原自然の家として主に学生の集団宿泊体験や会社の社員研修・グループ家族の体験学習（五右衛門風呂・ちびっこ農園・田植え・）に利用されている。周りは山に囲まれ自然豊かな場所である。

ログハウスもありボランティア団体（山口大学・県立大学）等により建設されたと説明されました。

施設の整備や事業を支えるボランティアの年間延べ人数は1,150人もいらっしゃることです。施設の利用者数は年間約一万人とのことでした。

私達の玉名市も閉校する小学校の跡地活用の具体的な案が決まっていないところもあり様々な情報を収集し地域が後退しないような跡地活用を官民一体となって行わなければならないと感じました。

天水校区は学校適正配置計画では玉陵校区の次に指定されており学校がなくなりうであろうとゆう地域住民の間では様々な話があり地域の過疎化に対する不安感が増しているように感じる。廃校利活用事業の先進地視察などを十分行い地域の不安解消に努めなければならない。

内田 靖信